

CLE 研究会設立記念セッション オープンエデュケーションと生涯学習の将来

飯吉 透[†] 岡部 洋一^{††}

過去十数年間に渡りオープンエデュケーションは、教育における世界的なムーブメントとして多くの実践的・実験的試みと共に進展してきた。日本国内でも、「オープン・テクノロジー」「オープン・コンテンツ」「オープン・ナレッジ」の各領域において、先駆的な取り組みがなされてきた。生涯学習も、国の施策として着実に根付き、放送大学はそのナショナルセンターとしての重要な役割を果たしている。本講演は、オープンエデュケーション、生涯学習それぞれの現状について、具体例を通して概観し、今後期待される成果について展望する。さらに、現在の日本の高等教育・生涯学習の抱える諸問題に鑑み、「教育のオープン化がどのように解決策として機能し得るか」、またその実現のためには、「国・地域・大学の各レベルにおいて、どのような戦略・技術的基盤・支援体制が必要か」について論じる。

The Future of Open Education and Lifelong Learning

TORU IIYOSHI[†] YOICHI OKABE^{††}

Over the last ten years or so, open education--as a global movement in education--has been advanced through various practical and experimental endeavors. In Japan, some pioneer efforts have also been made in three areas: "open technology," "open content" and "open knowledge." During the same period of time, lifelong learning has been promoted as a part of the basic governmental policies in education, and the Open University of Japan (OUJ) has been playing its critical role as the national center in the arena. This session reviews the current state of open education and lifelong learning through some examples, and explores anticipated outcomes in the future. It also discusses "how opening up education can resolve some of the critical issues that Japan higher education and lifelong learning is facing" as well as "what strategies, technological infrastructures, and support structures are necessary at each of the national, regional, and institutional levels" to achieve these goals.

本セッションの構成

オープンエデュケーションと生涯学習、それぞれの立場から、これまでの実践もふまえ現状分析と将来の展望をご講演いただいたのち、参加者も交えてディスカッションを行う。期待される主な論点は、

- ・日本の高等教育・生涯学習振興のために ICT の果たすべき役割
- ・様々な研究・開発・実践の試みの協調と競争のバランスをどのように取るか
- ・「教育開発」と「技術開発」の相互的發展関係を、どのように確立し促進させるか
- ・日本におけるオープンエデュケーションの今後の可能性と課題、放送大学など生涯学習機関の果たす役割
- ・上記のそれぞれについて、持続可能性を保証するために、どのような支援体制が必要か、などである

(モデレータ： 放送大学 ICT 活用・遠隔教育センター 山田恒夫)

講演者紹介*



飯吉 透

東京生まれ。マサチューセッツ工科大学 (MIT) 教育イノベーション・テクノロジー局シニア・ストラテジスト。中部大学高等学術研究所客員教授。私学高等教育研究所客員研究員。国際基督教大学、同大学院教育学研究科を経て、フロリダ州立大学大学院博士課程修了。Ph.D.(教授システム学)。カーネギー財団知識メディア研究所所長、東京大学大学院情報学環客員教授などを経て現職。主編著書に、「Opening Up Education」(MIT 出版)、「マルチメディアデザイン論」(アスキー)他。



岡部 洋一 (正会員)

東京都生まれ。放送大学副学長・CIO。東京大学名誉教授。東京大学先端科学技術研究センター(先端研)センター長、東京大学情報基盤センターセンター長、(独)メディア教育開発センター(非常勤)理事等を歴任。専門は電子工学、特に超伝導エレクトロニクスにおけるデジタル応用、ブレインコンピュータ、脳磁場の逆問題解析、情報工学。工学博士(東京大学、1972年)。

*[†]マサチューセッツ工科大学
Massachusetts Institute of Technology
^{††} 放送大学
The Open University of Japan